

「第14回クリーンウォーク
とかち in 札内川」(実行委
員会主催)が10日、愛国大橋
を中心とする帯広市と幕別町
の札内川河川敷一帯で行われ
た。37社・団体の家族や一般
市民ら約800人が参加し、
ごみ拾いに精を出した。

守れ河川環境

参加者は午前9時、北愛国
交流広場に集合。開会式では
小森正伸実行委員長が「焼き
肉、バーベキューに繰り出し
た一部の心ない人によって、
ごみが散乱している。清流日
本一に輝いた札内川を先々の
子供たちに残していきたい」
とあいさつした。

800人がごみ拾い

恒例のラジオ体操をした
いる。
参加者は午前9時、北愛国
交流広場に集合。開会式では
小森正伸実行委員長が「焼き
肉、バーベキューに繰り出し
た一部の心ない人によって、
ごみが散乱している。清流日
本一に輝いた札内川を先々の
子供たちに残していきたい」
とあいさつした。

札内川河川敷でクリーンウォーク

後、班に分かれ、火ばさみと
ビニール袋を手に川沿いの1
・5〜2・5㍍を歩いてごみ
を拾った。
空き缶や弁当容器のほか、
電化製品など大型ごみの不法
投棄も目立った。
職場の仲間と参加した市内
の会社員佐藤秀樹さん(38)
は「見えない場所にごみがた
くさんある。モラルを守って
ほしい」と作業に汗を流して
いた。(関坂典生)



散乱したごみを拾い集める参加者
(10日午前9時50分ごろ)

聞いたことがない」と話し
トの作付面積は2013年
産で2万50007畝となつ
ている。道農政部のまと
めによると、十勝管内のビー
ている。(井上朋一)